

## 基本計画部会における次期基本計画に係る審議の整理メモ（未定稿）

審議テーマ	統計改革推進会議最終取りまとめの該当項目
第3-4(1) 統計調査員の確保・育成	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 調査に当たって分かりやすい説明ができるよう、統計調査員等の能力向上を図るための具体的方策について検討を行い、来年度から実施する。</li> <li>② ICTやコールセンター等により、調査員支援を強化する。</li> <li>③ 地方統計機構の提案等に基づく接触困難な報告者への対応や調査環境改善等を行う体制を整備する。</li> <li>④ 統計棚卸しを通じて、ICT・行政記録情報の積極的な活用や、プロファイリング活動の導入など企業を対象とした情報収集方法の見直しを進め、統計調査員でなければならない調査業務にそのリソースを集中させる</li> <li>⑤ 学生の任用等の取組の検証と優れた取組の横展開を行う。</li> <li>⑥ 統計調査員の実務の状況の研究・分析を行い、その結果も踏まえて、オンライン講座など研修機会を増加・充実させるとともに、優れた統計調査員のノウハウ共有等を推進する。</li> <li>⑦ 報告者の理解の得られる分かりやすい説明や報告のあった情報の保護の徹底等に関する研修を充実する等により、統計調査員の質及び業務に対する自覚を維持・向上させるとともに、統計調査員に対する国民の信頼を確保する。</li> </ol> <p style="text-align: center;"><b>現行基本計画の該当項目</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>⑧ 地方公共団体とも連携し、統計調査員の役割や重要性等に関する周知を引き続き推進するとともに、統計調査員の確保・育成や処遇改善等に関する取組を継続的に実施する。</li> </ol>
<b>これまでの統計委員会の意見</b>	<p>&lt;家計調査の変更に係る部会審議を踏まえたメモ&gt;</p> <p>○ 経常的な調査員調査を中心に、調査への協力に至らなかった基礎情報（報告者とのやり取り、訪問回数、面接できなかった世帯数等）を体系的に蓄積する方策を検討するとともに、それら情報を積極的に活用することが望まれる。</p> <p>それらの情報は、統計調査員の資質向上やノウハウの継承の意味からも有益である。またバイアス等の除去に向けた調査回答の結果を解釈する際に役立つことができる。</p>
<b>各種研究会等での指摘</b>	

<b>担当府省の取組状況の概要</b>	⑧ 各府省は、統計調査の実施に当たり、調査員募集に係るキャンペーンサイト、ポスター及びリーフレットを作成するとともに、調査員への講習会や「調査員だより」の発行、調査員の役割や身分などについてのホームページへの掲載など統計調査員の役割や重要性等に関する周知に取り組んでいる。
<b>次期基本計画における取扱い及び基本的な考え方（案）に向けた検討の方向性</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生の任用等に関して検討を行う必要があるのではないか。（⑤）</li> <li>○ <u>本WGでは、総務省を中心とした検討状況を踏まえつつ、引き続き検討を継続し、最終的な結論を得ることとする。</u></li> </ul>
<b>備考（留意点等）</b>	